

群馬県文化振興指針（仮称）骨子等に関する意見  
【市町村から提出された意見（受付順）】

1 骨子に関する意見

【意見①（榛東村）】

高い理念を掲げて、それを実現するには、官・民・学などの共働作業が大事で、小・中・高・大学などで地域に根ざした文化遺産の学習を行うことが、より重要であると考える。

【意見②（嬭恋村）】

文化振興、伝統継承等のために、緊急的に必要な事業もあるので、緊急時に対応できるような支援体制を整えていただきたい。

【意見③（東吾妻町）】

指針の策定については、市町村の文化行政・文化財行政の担当者の意見を反映させて下さい。また、指針の範囲が広く、教育委員会の担当職員だけでは対応がむずかしい。

【意見④（太田市）】

群馬県の文化の特性の中で、信仰に関する視点が欠落している。赤城信仰、雷電信仰、大杉信仰など群馬の人々を支えた精神的な拠りどころであり、特色である。

【意見⑤（太田市）】

具体的な説明を受ける前であるが、アンケートを実施し、その結果を踏まえてのものということで、一定の方向性は視野に入れられているように思われる。

2 指針全般に関する意見

【意見①（榛東村）】

心豊かな文化にあふれた活力ある「文化県群馬」の実現に向けて、子どもからお年寄りまで生涯に渡って文化を享受できる体制づくりが必要であると思う。

【意見②（嬭恋村）】

文化振興、伝統文化継承、芸術などを目的とした活動自体が、衰退してしまうことの無いように対応・支援をお願いしたい。

【意見③（前橋市）】

4 県民、市町村との関係（骨子 P 3）

「県民、市町村を県が後ろから支えることが県の責務であることを明確にし」

→ 具体的、分かり易い記載を希望

**【意見④（前橋市）】**

2 長期的・広域的な視点での推進（骨子 P 1 4）

「市町村と協力・連携」

→ 具体的にどのようなプロセスを踏んで協力・連携するのかご教示願いたい。

**【意見⑤（太田市）】**

活動体系の中に小中高校もしっかりと組み込んで置くことが大事だと思う。学校教育の中で文化への感化が深められないと定着していかないと思う。

**【意見⑥（太田市）】**

様々な立場からの意見の集約や検討を経た上で、有効なものが策定されることが望まれる。

**3 県からの支援を希望する取組や事業**

**【意見①（榛東村）】**

本村指定重要民俗無形文化財（太々神楽、獅子舞、地藏祭りなど）、特に衣装や太鼓などの備品への補助がしてもらえると有難い。

**【意見②（嬭恋村）】**

伝統文化の継承や文化振興等を目的として、多くの団体が活動を行っているが、その団体が活動しやすくなるような補助事業を希望する。

自治体の財政状況にもよるが、自治体単体で補助を行うことが難しい場合もあり、近年は少子化や人口減少による団体構成員の減少などに伴い、思うように活動がしづらい団体もあることから、文化振興、伝統文化の継承などジャンルを区分せず、文化振興に係る活動に対して柔軟に運用できる補助金の交付をお願いしたい。

**【意見③（太田市）】**

芸術文化活動の振興に向けた支援をお願いしたい。